

# 令和3年度 氷見市教育総合センターだより 第2報

## 第1回 ICT教育推進プロジェクト会議 5月25日(火) 指導助言：富山大学大学院教職実践開発研究科 准教授 長谷川 春生 先生

氷見市のICT教育における目指すべき方向性や方策等について、幅広く意見交換や情報共有を行うため、関係者が一堂に会して、第1回ICT教育推進プロジェクト会議を開催しました。

会議では、昨年度の会議の振り返りの後、今年度のICT教育推進委員会の活動計画、ICT環境整備、ICT支援員の配置についての説明がありました。教育ソフト関連企業各社からは、導入済みの機器やソフト等の活用研修会の提案等がありました。



協議では、ラインズのドリルソフトとジャストスマイル8のそれぞれの特長と使い分け方、タブレットPCの家庭持ち帰りの際の充電方法に関する質問や、「授業等で使いたいソフト(アプリ)のインストール許可を柔軟にしてほしい」「各校の推進委員が教員のICTスキル向上をリードしてほしい」などの意見が出ました。

長谷川先生からは、ICT活用の方向性として、特に以下の点について教えていただきました。

- 学校同士をつなぐ取組(遠隔合同授業等)を進め、ICTの力で外に開いた学習を展開してほしい。
- タブレット端末の持ち帰りを進めるのは、時代の流れに乗っている。タブレット端末を文房具のように使ってほしい。
- 端末が整備される一方、ソフト(アプリ)を入れるところまで手が回らない市町村もあるが、氷見市は授業支援ソフトやドリルソフト等が導入されている。GIGAスクールサポーターの配置やモバイルルーターの準備等も含め、環境的には恵まれている。それを生かして、今後さらなる活用が進むことを期待している。
- 日常的なICTの活用に向けては、文部科学省ホームページの「StuDX Style」が参考になる。学習環境の作り方等、画像を使って分かりやすく説明されているので、使ってみてほしい。

今年度は、学校ごとのICT活用計画の実践を通して、氷見市全体でより一層のICT活用を進めたいと考えています。

## Q-Uを活用した魅力ある学級づくり研修会 6月3日(木) 講師：富山県教育カウンセラー協会 代表 水上 和夫 先生



研修会では、参加者によるウォーミングアップの後、Q-Uの構成やデータの見方等の解説から、学級集団に作用する集団の力学や「2-6-2の法則(きちんとした2割と問題のある2割だけでなく6割の普通の子供に声をかけることが大事)」等、学級づくりのスキルアップにつながるポイントを、経験を交えて分かりやすく教えていただきました。子供の可能性を見付け、認め、伝えることができる教師になってほしいという先生からの励ましの言葉をいただき、最後に参加者同士で研修の振り返りを行いました。

日々の学級づくりに生きるヒントが詰まった充実した研修会になりました。

### <参加者の声>

- 「子供はだめなところを指摘されるために学校に来ているのではない」という先生の言葉にドキッとしました。4月からの自分の行動を振り返ってみて、子供の直してほしいところばかりを見ていないか、とても心配になりました。今日の研修会で様々な学び、気づきがありました。
- 普通にやっている6割の子供たちへの声かけを大切に、子供たちが安心して学ぶことのできる学級をつくっていきたいです。

## 調査研究事業「外国語教育推進委員会」

昨年度は、「ENGLISH セミナー2020」の企画・運営と「外国語教育ひみプラン指導事例集2」の作成・配布を通して、児童生徒の英語力の向上と「外国語教育ひみプラン」の普及に取り組みました。今年度は、下記の取組を予定しています。



### ◇ 「ENGLISH セミナー2021」の開催

- ・実施日 7月28日(水)
- ・対象 小学6年生 30名程度  
西條中学校英語部 数名
- ・内容 ①ALTによる異文化理解クイズ  
②中学生によるモデルプレゼンテーション  
③小学生によるプレゼンテーション  
(Lesson 2, 3のワークシートの発表)
  - ・私がお勧めする「氷見のすてき」
  - ・私が自慢したい「日本文化」の紹介



「ENGLISH セミナー2020」より

### ◇ ふるさと教材英語版「We Love HIMI!」の改訂

コロナ禍の影響を受け、ALTを十分に派遣できない状況が続きます。児童生徒が、少しでも外国語や異文化に触れることができるよう、また、外国語の学習を通してふるさと氷見について考え、ふるさとのよさを発信できるようサポートしていきたいと考えています。各校のご理解とご協力をお願いします。

## 調査研究事業「ICT教育推進委員会」



本委員会は昨年度まで、「ICT活用推進リーフレット」や「プログラミング教育の事例集」を発行するなど、氷見市におけるICT活用の推進を目指した活動に取り組んできました。現在、全体的なICT活用頻度は高まってきているものの、一方で、「個々の教員に目を向けると少なからず差がある」「電子黒板の教室間や階の移動が困難である」「小学校におけるプログラミング教育の取組(ViscuitやScratchの基本操作の研修等)に教員間で差がある」などの課題も上がっています。また、「一人一台端末の活用方法等について、研修や共通理解が必要である」という声も聞かれます。

そこで、今年度は、「各校でICT活用推進計画に基づいた取組を進めると同時に、ICTを活用した授業、プログラミング教育の推進に向けた実践的な研究を行う」という目的の下、次のような目標を設定しました。

【全校共通】… 推進委員が中心となって各校の実態に応じた「ICT活用推進計画」を作成し、実践を進める。

【小学校】… 「情報活用能力(プログラミング教育を含む)の育成に係る基本カリキュラム～総合的な学習の時間等を活用したカリキュラム～」から、担当する学年の内容のいずれかを実践する。

【中学校】… 全ての教員が、電子黒板とタブレットPCを使った授業をできるようにする。

今後、協力校における「一人一台端末をどう活用するか」をテーマとした授業研究を行うなど、委員会のメンバーがそれぞれの学校のリーダーとなり、ICT教育を推進していきます。

<第1回会合(5月6日)での委員長の挨拶より>

これまでの教育実践にICTを組み合わせることによって、教育の質が向上することを目指したい。子供たちが一人一台端末を、鉛筆やノートのような文房具として使いこなせるようになったらよいと思う。

## 今年度の小中連携教育 ～9年間の学びをつなぐ・支援をつなぐ～

氷見市ではこれまで、義務教育9年間での成長を見据え、学習・生活両面における指導や支援を系統的、継続的に行ってまいりました。主な取組と課題は以下のとおりです。

【取組】○組織・計画について…重点項目の決定、小中合同の年間行事計画表の作成、担当者の校務分掌への位置付け、事業実施計画の教育計画への掲載、定期的な連絡会の実施等

○学習指導について…乗り入れ授業の実施、互見授業・研修会の実施

○生徒指導について…小中情報交換会の実施、小中連携支援シート（ほっとラインシート）の活用、小中連携アウトメディア（ゼロメディア）運動、挨拶運動、清掃活動の実施等

【課題】●年度当初における年間行事予定の確認 ●生徒指導主事や研究主任間の情報交換の場

●事後研修を含めた乗り入れ指導の実施 ●小中連携の成果の共有

これらを踏まえ、本年度も「9年間の学びをつなぐ・支援をつなぐ」小中連携教育を目指します。

各校区の実情を踏まえて計画されている内容

※ 詳細については、「小中共通フォルダ>教育総合センター>01-小中連携教育>★R3計画書・報告書」をご覧ください。

	今年度の重点事項	組織・計画	学習指導	生徒指導
南部中学校区	◇連携による豊かな心の育成と基本的な生活習慣の確立 ◇「学びの連続」による学力向上、児童生徒理解の推進	○校区3校校長会 ○校区3校教頭会 ○3部会推進委員会 ・学習指導部会 ・生徒指導部会 ・家庭・地域連携部会 ○部会協議会	○乗り入れ指導と兼務の授業の実施（音楽科と外国語科） ○学習公開日の授業参観 ○学校訪問研修会、小教研・中教研発表会等への授業参観	○ゼロメディア運動（PTAと連携、定期考査1週間前の年5回） ○小中合同ハートフル標語の募集 ○学校祭への小学生招待 ○ハートフルだよりの発行
北部中学校区	◇9年間の学びをつなぐ・支援をつなぐ	○小中連携会議（教頭、毎月25日頃開催）	○「学習の手引き」の配布と説明（中学校教頭等が6年生に中学校の学習について説明） ○春休みに取り組む共通課題を6年生へ配布し、入学後に点検	○「中1ギャップ」解消のための小学校教諭による授業参観と懇談会 ○家庭学習週間 ○小中連携清掃活動 ○小中合同挨拶運動 ○不登校等の児童についての個別連絡会
十三中学校区	◇密な情報交換と、よりよい指導方法の研究や指導方針の共通理解による教職員の指導力の向上 ◇保育園や地域の教育資源との連携、学校・家庭・地域が一体となった系統的、継続的な取組による児童生徒の健全育成	○小中連携推進委員会（校長、教頭、教務主任） ○学習指導部会 ○生徒指導部会	○児童生徒の学習面での情報交換 ○校内研究授業の参観・協議会 ○家庭学習での連携（家庭学習時間の確保） ○小中合同研修会（夏季休業中）	○児童生徒の生活面での情報交換 ○ネットルールの取組（十三校区ネットルール作成、アウトメディア週間） ○きずなの森整備活動 ○学校祭への小学生招待
西條中学校区	◇西條校区に愛着をもつ児童生徒の9年間を見据えた育成	○推進委員会（教頭） ○連携実務者会議（教務主任）	○市小教研、中教研、学校訪問研修会、学習公開日での授業参観 ○合同研修会 ・つまずきの分析と学習指導 ・スマホ所持率、ネットトラブル	○家庭学習週間 ○スマホ、ネットルールの策定と周知、見直し ○学校祭への小学生招待 ○小学生の中学校授業体験 ○カウンセリング指導員と小6担当教員との情報交換
西の杜学園	◇自分の考えをもち、進んで学ぶ児童生徒の育成 ◇目標をもち、あきらめずに取り組む児童生徒の育成	○アクションプラン部会 ・「学力向上」部会 ・「望ましい生活習慣」部会 ○教科部会（小中の教員） ○前期・中期・後期ブロック部会	○9年間の連続した、途切れない個に応じた指導・支援 ○ICTを効果的に活用した授業研究 ○1～4年生は一部教科、5～9年生は全教科で教科担任制 ○音楽専科教員、外部講師による発達段階に応じた歌唱指導 ○ひみプランを活用した外国語活動・外国語科の実践 ○地域の特色を生かしたふるさと学習の充実	○全校が一丸となったチームによる支援体制づくり ○異学年交流活動 ・アウトメディア運動 ・ネットルールの作成・守ろうネットルールの呼びかけ ・気付き支え合い清掃（全校縦割り） ・挨拶運動

## 夏季研修会のお知らせ

「小中連携9年間のひとつづくり ～9年間の学びをつなぐ、支援をつなぐ～」をテーマに、学力の向上や生徒指導の充実等を図るため、教員の資質向上を目指し、夏季休業中において下記の研修を計画しました。多くの先生方が受講されることを期待しています。



研修会申込みは、電子データ（5/10送付済）にて、7月2日（金）までに、氷見市教育総合センターへC4thで提出くださるようお願いいたします。

研修会名・講師・内容等		実施日等	対象者・備考
1	★ 学力向上研修会 講師 早稲田大学 元教授 露木 和男 氏 内容 講師による模擬授業と研究協議、指導講話	7月27日（火） 13:30～16:00 教文4階ホール	・希望者
2	★ 幼保小連携教育合同講演会 講師 山梨県立大学 教授 阿部 美穂子 氏 内容 幼保小連携・接続について	7月28日（水） 13:30～15:30 いきいき元気館	・希望者 【子育て支援課と共催】
3	生徒指導研修会 講師 高岡支援学校 特別支援教育コーディネーター 内容 通常の学級で行う特別支援教育	8月3日（火） 9:30～12:00 教文4階ホール	・希望者 (通常学級、特別支援学級担任等)
4	ふるさと教育研修会 講師 教育総務課 博物館学芸員 外 会場 氷見市内の万葉歌碑、氷見ラボ水族館等	8月5日（木） 13:00～16:45 市内各会場	・新規採用教員 ・希望者 ・今年度氷見市へ転入した教員 (欠補・代員の臨任講師を含む)
5	★ 外国語教育実技研修会 講師 富山大学大学院 教授 岡崎 浩幸 氏 内容 新学習指導要領に基づく英語科の授業改善	8月12日（木） 13:30～16:00 教文第一会議室	・中学校英語科教員 ・小学校外国語専科教員
6	★ 教育セミナー（これからの教育） 講師 菊池道場 菊池 省三 氏 内容 これからの教育のあり方	8月18日（水） 9:00～12:00 13:30～16:30 教文4階ホール	・希望者 ・午前は小学校教員対象 ・午後は中学校教員対象

※ ★印の研修は、「中堅教諭等資質向上研修」における「選択研修」の対象となります。

## 若手教員研修会等について

若手教員等の指導力向上を目指し、児童生徒理解や指導方法等について学び合い、教員同士のネットワークを構築する機会とします。

研修会テーマ・講師・内容等		実施日等	対象者・備考
1	テーマ 授業づくり 講師 学力向上推進チーム 内容 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業づくり	6月9日（水） 15:30～16:45 教文4階ホール	・小学校 ・中学校
2	テーマ グラフィックレコーディング 講師 トークグラフィッカー 山口 翔太 氏 内容 ノート指導や板書等に生きる文字や絵での記録方法	8月25日（水） 9:00～12:00 教文4階ホール	・小学校 ・中学校
3	テーマ 学級づくり・授業づくり 講師 氷見市立宮田小学校 小嶋 永治 教諭 内容 実践に基づく意見交換等	11月5日（金） 17:30～19:00 教文4階ホール	・小学校
	テーマ 学級づくり・授業づくり 講師 氷見市立西條中学校 中山 隼人 教諭 内容 実践に基づく意見交換等	11月2日（火） 17:30～19:00 教文第一会議室	・中学校
4	テーマ 教育論文・教育実践記録を書いてみよう！ 講師 氷見市教育総合センター 指導主事等 内容 教育論文等を書くためのポイントを指導	5月28日（金） 17:30～19:00 教文第一会議室	・教育論文等の執筆予定者 ・希望者 第2回を7月29日（木）に開催

### <受講者の声>

- ・研究に取り組むということがどのようなことなのか、今まではあまり分からず行っていたように思いました。問題意識をもつということ、そして子供がどのような姿になってほしいのか、そのためにどんなことをするのか、しっかり考えることが大切だと思いました。
- ・現在のクラスの問題点を挙げてみると、いろいろな方面から改善していけると改めて感じた。
- ・実践的知識という言葉が心に残りました。自分なりに実践してみても身に付けた知識は、確かに教員としての財産だと思いました。
- ・講師のお話の中にあつた「省察することの大切さ」「書くことは人を確かにする」など、とても心に残る言葉がたくさんありました。日々自分を高めていきたい、楽しみながら子供と一緒に成長していきたいと思いました。